

1 活動のねらい

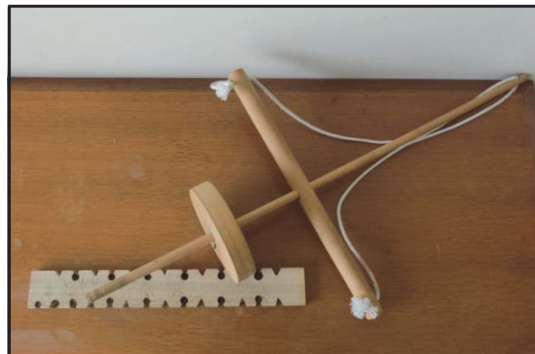
昔の方法で火を起こすことで、火のありがたみや、太古の人たちの知恵を学びます。

2 活動の概要

舞ざり式の火起こし器で、皆で協力しながら交代で火起こし体験をします。野外炊事の火付けの活動としても実施可能です。

3 人数・時間・場所

- (1) **人数** 160名程度まで
- (2) **対象** 小学生以上
- (3) **期間** 野外炊事実施期間と同様
- (4) **時間** 30分～1時間程度
- (5) **場所** 野外炊事場・南部曲り家

**4 料金**

1セット300円（1セット8名程度）

5 指導について

活動は原則、団体の自主活動になります。依頼があれば職員が説明します。

6 準備する物

区分	内容
交流の家	・火起こし器 ・ひきり板 ・かんなくず ・麻紐

7 活動の流れ

- ① 指導者または交流の家職員が、火起こし器の使用方法を説明します。
- ② 参加者は交代しながら火起こしを体験します。
- ③ 煙が出て火種ができたなら、ほぐした麻紐やかんなくずに火を移し、さらに、落ち葉や小枝などに火を移して徐々に火を大きくします。
- ④ 引き続き野外炊事をする場合は、道具を片付けます。